



▲令和3年3月17日撮影

令和3年3月、南豫明倫館から3人が4年の大学生活を終え、それぞれ新たな道に踏み出した。「大学院に進み半導体関連の研究をする」「今後は可能な限りいろいろなことに挑戦する」「後悔しないよう生きる」と抱負。

後輩には「人に迷惑を掛けず、思いやりのある人になってほしい」「さまざまな経験によって人生の幅が広がる」「外の世界に触れて新しい発見をしてほしい」などの言葉を残した。

3月14日には壮行会を開き、卒業生を激励した。新型コロナ禍のため例年より1カ月遅れの開催となった。



## 後悔しないよう生きる 3年3月 夢を抱いて3人が旅立ち

### 卒業生の言葉

卒業生氏名 (大学・学部・出身地)

進路

- 1 将来の抱負
- 2 後輩への助言



#### 三浦 大 (東京農工大学・工学部・宇和島市)

1 来年度から東京農工大学大学院に進学し、半導体結晶膜成長について研究します。省エネルギー化に向けて高耐圧低損失なパワーデバイス作製の一助となるよう努力します。周りの人に迷惑をかけず、困っている人がいれば助けられる素敵な男性になってください。大学の勉強や様々なコミュニケーションでの人間関係等大変だと思いますが頑張ってください。

#### 上田 俊希 (東京学芸大学・教育学部・南宇和郡愛南町)

1 将来の抱負は、可能な限り色々なことに挑戦していきたいです。大学は陸上ばかりで、その他の事にあまり触れてきませんでした。何かできる事を増やしたいと考えています。大学生活はあっという間です。二、三年生はそれを身をもって感じていると思います。コロナで難しいと思いますが、外の世界に触れて、新しい発見をしてほしいと思います。

#### 赤松 智彦 (国士舘大学・経営学部・宇和島市)

1 IT企業  
 目指す将来像は無数にあり、日々変化していきますが、後悔しないように生きるという信念は変わることなく持ち続けています。今後この考えを人生の軸として生きていきます。

2 様々な場所で、様々な人・街・文化と出会ってください。今の自分を形作るのはこれまでの経験であり、その経験が多様性に満ち溢れている程、人生の幅が広がると思います。

### 人間力の「基礎」を磨け

令和二年度後期自治会委員長 菊池 快明

令和二年度後期自治会委員長を務めさせていただきました法政大学四年の菊池快明と申します。よろしくお願ひします。

さて、新型コロナウイルスの流行などにより混迷を極めた令和二年度でしたが、この南豫明倫館も例外ではありませんでした。最初の緊急事態宣言の際は寮生全員のアルバイトを禁止するなど最大限の注意を払い感染防止に努め、その後も外出制限を行うなど寮生にとっては不自由の多い一年間になったのではないかと考えています。しかし、そのような状況下であったからこそ各々が寮の重要性を再認識するキッカケとなったのではないのでしょうか。

巷では他人と交流する機会が激減し孤独を感じる人が多く存在したと思われまます。しかし、この南豫明倫館では各々が寮内で生活する時間が増え、寮生間での絆を深める事ができました。私自身も大学で全く違う分野の事を学習している友人の話や聞くことで刺激を受けるなど身近な人間の存在のありがたみを集団生活の中で実感することができました。

その一方で、この集団生活において浮き彫りになってきた問題点もあり、そのほとんどが人として守らねばならない基礎的な部分の課題でした。例えば、挨拶の声の大きさ、汚した場所を放置している、夜間の騒音などが挙げられます。上記のような最低限の社会常識は他人からの評価や信頼に著しく影響を与える項目です。私は寮生に

「彼はああいうやつだから」で終わらせることをしてほしいと思いません。他人を注意するということも人として基礎的で重要なスキルです。気付いた間違いを指摘することに臆する必要はありません。寧ろ相手を正しい方向に導く事が優しさであるという信念を抱いて積極的に行動してほしいと思います。そうしてお互いを高め合い信頼関係を構築していく寮生活を過ごしていくのが理想的です。

このように集団生活では一人暮らしなどと比較して不自由な事も多いですがそれ以上に得られる学びが大きいのです。このような環境で生活できることをチャンスと捉えて寮生には大学生活の間に大きく飛躍してほしいと思います。

最後に、南豫奨学会や保護者、OBの皆さまの支援のおかげによりこの素晴らしい環境で生活を行えている事に対しまして寮生一同を代表して心より感謝申し上げます。我々はこの貴重な四年間を通じて強く逞しく日々成長しています。その過程を温かい目で見守っていただければ幸いです。

### 退任に当たり、ご支援に感謝

南豫明倫館館長 戸梶 學

平成二十四年四月、妻とともに南豫明倫館に来て、早いもので九年と数カ月が経過しました。初めは五年のつもりでした。目黒区上目黒の大学四年間と、就任前年を加えれば、おおよそ十四年南豫明倫館に関わったこととなります。令和三年七月三十一日に退任いたします。退任に当たって、思い出や寮生気質などを書き残しておきます。

就任する一年ほど前から、当時の木下博民館長や岡本健常務理事が東京から松山まで何度か足を運ばれ、私たち夫婦に対して「寮の世話をしてほしい」と要請されました。私は会社員当時も東京支社に二度来ていますし、東京が好きだったの

で恩返しの意味も含めて応諾しました。妻も最初は、仕方なく同意したという感じでした。木下館長は、宇和島市出身で、不実を許さない清廉潔白な方でした。寮生の奨学・教育に尽力され、平成三十年六月に亡くなられました(享年九十七)。岡本常務理事は北宇和郡三間町(現宇和島市)出身で、若いころから南豫奨学会と南豫明倫館の面倒を見つけて、何でも知る生き字引的存在です。少し体調を壊され、残念ながらこの六月の定例理事会で退任されました。お二人には人一倍お世話になりました。

この十年でざっと計算して寮生の受け入れ送り出しはそれぞれ百二十〜百三十人を数えます。しかし、卒業した後はほとんどがなしのつづです。私たちの頃は、当初寮費が朝夕二食付きで六千円台でした。私は南豫明倫館がなければ大学進学は生活費捻出などで苦労したと思います。安い寮費に助けられて大学を卒業できました。

寮生の気質は変わりました。恩着せがましき言うつもりはありませんが、まず感謝の気持ちが感じられません。

新聞はほとんどが読みません。五十年前は多くの寮生が個人で新聞を購読していました。現在愛媛新聞、日経新聞、産経新聞、朝日新聞の四紙を取っていますが、食堂のテレビの前に置いていても誰も読まない日があります。これでは新聞が売れないはずですが、本好きの寮生はいるのですが、アマゾンなどで取り寄せています。新型コロナ禍で外出もままならないのですが、読みたい本は本屋に行って手に取って選ぶ。それが本屋での醍醐味ではないですか。

私たちが学生の頃は、政治にも大いに興味がありました。雑誌にも目を通し、毎晩のように議論していました。今、寮生が政治に関

して議論している姿が見られません。小金井市に転入届を出している寮生は半数以下でしょうか。したがって選挙に投票できないのです。

この十年でも変わりました。「女人禁制の寮に女性を連れ込むと退寮にするぞ」と脅して者がいました。判明した段階で反省文を提出させましたが、今は見かけないようです。取り散らかした汚い部屋にやってくる女性はい度胸をしています。まさに肉食系女性です。

コロナのせいで裏口を出入り禁止にしたため、玄関と学生用出入り口の二カ所しかありませんのでバシやさいのようです。おまけに今春、防犯カメラを五カ所に設置したので万事休すです。

スマホの普及で寮生には、女性からの手紙はほぼ皆無です。あっても年に数通程度です。これも時代でしょう。

朝夕の食事は細川雅弘・郁子ご夫妻に住み込みで作っていただき、おいしくなりました。一時期給食業者を採用しましたが、おいしくありませんでした。

私たちの後任は井伊盛一郎・龍子ご夫妻です。北宇和郡広見町(現鬼北町)出身で元愛媛県庁OBです。六月末まで南レク株式会社(宇和島市津島町)の社長をされています。よろしく願います。

長きにわたりご支援いただき、妻節子ともども感謝申し上げます。楽しい充実した十年でした。今後は松山で余生を送ります。

令和2年度後期自治会

委員長	菊池 快明
副委員長	石山 将成
〃	和田 隆
会計	川崎 洋
企画	伊藤 祐基
風紀	小野 薫
広報	近藤幸太郎
整備	黒澤虎之進
情報	青野 純也



公益財団法人 南豫奨学会 「奨学金支援会」だより  
ご寄付いただいたお礼とご報告

公益財団法人南豫奨学会・奨学金支援会  
理事長・会長 伊達 宗信

平素は皆様方には公益財団法人南豫奨学会と南豫明倫館の運営にご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、南豫奨学会の令和2年度の「奨学金支援会」には令和三年三月三十一日現在、八十一名(一市四法人を含む)の方々から百七十六万三千七百七十一円の支援金をお寄せいただきました。皆様方のご厚意に感謝申し上げます。前年度から該当者が一名(二年間)おり、すべて向学心にあふれる寮生の奨学金として貸与させていただきます。

南豫奨学会の奨学金貸与は、本年度までに三十二人、総額五千七百四十万円の実績を挙げました。しかし、奨学金貸与の基金としてはさらに充実させなければならぬ使命と考えております。つきましては、何かとご出費の多い折から、まことに恐縮至極に存じますが、本趣旨をご高察のうえ、格別のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

奨学金貸与金の基金となる年会費として、一口(普通会員一万円、特別会員〓南豫奨学会評議員・監事 理事二万〓三万円、法人会員五万円)以上のご支援を賜れば幸甚に存じます。未来を担う人材の育成すなわち教育こそ郷土発展の基礎だと確信しています。

郵便振込口座番号 〇二五〇二二一九六五三三  
名義 「南豫奨学会奨学金支援会」

令和2年度に寄付をいただいた方々  
(令和2年4月1日〜令和3年3月31日)  
敬称略・寄付日付順

- 宇都宮吉彦・中島 仲義・木戸 英紀
- 芝 壽志・酒井 利長・三浦 成毅
- 伊藤 健二・廣瀬 益久・大谷 勝俊
- 入江 伸明・松影 通男・和田 智
- 河野 秀康・高瀬 東・石田 則雄
- 岡添 弘・岡本 健・川又 正吾
- 渡森 博史・宇都宮栄治・廣瀬 了
- 鈴木 泰三・上田 城生・石山 豊城
- 山本 雄大・宇都宮高明・山宮 満安
- 坂本 昭彦・新津 昌雄・栗林 秀典
- 湖西 成仁・玉留 一・関本 貢
- 渡辺 昭・田中 公興・渡辺 英雄
- 阿部 雅昭・清家 健介・原田 雅仁
- 菊池 文孝・横山 和郎・藤田 和仁
- 成田 文江・藤田 武博・瀬戸 和子
- 今村 敬・赤松 等(株)山田屋
- 山田 英次・竹田 重仁・芝 壽志
- 菊池 重紘・猪原 英彦・浅田 勇介
- 増原 恵輔・玉井 頼子・横山 敏彦
- 山瀬 達郎・岡山 三治・テレビ愛媛
- 古谷 和重・愛媛新聞社・伊達 宗信
- 宇都宮正二・宇和島市役所・宇都宮凡平
- 本田 裕幸・菊池 秀明・戸梶 學
- 矢野 順二・中浦 裕志・梶谷 利秀
- 新津 昭雄・伊予銀行・佐渡 吉晴
- 横田 弘之・水口 重仁・黒田 耕一
- 藤田 元信・猪野恵一郎・安村 弘紀

令和2年度支援会募金状況 (令和3年3月31日現在)

	募金数	金額(円)
一般	1人	10,000
現・元保護者	24人	530,617
法人	3社	169,380
市	1市	50,000
O B	13人	149,921
評議員・審議員	21人	406,765
理事・監事・元役員	18人	446,488
合計	81(人・社・市)	1,763,171

※選定委員は評議員・審議員に含みます。東京都の指導で郵便振込料を差し引きました。

編集後記

▼この一年と数カ月、世界は新型コロナウイルスの大混乱に陥り、今も揺れ続けています。日本でもワクチン接種が進みそうですが、この先どう推移するのか予断を許しません。

▼南豫明倫館では、昨年からの四月までの高熱を出した寮生が三人いて、「今度こそコロナ感染か」と心配しましたが、幸いにもコロナではありませんでした。注意点を詳細に書いて十回ほど掲示し、さらに自治委員長を通じてLINEで頻りに訴えてきました。

▼都内では、他県の学生寮にもいくつか感染者が出ました。軽率な行動で感染を広げると、他の寮生は迷惑します。十分注意してください。